京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

▲明治四十四年 紀元二千五百七十一年
▲定價 一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月前金一圓八十錢▲郵税一ケ月十五錢
廣告料▲五號活字十七字詰一行金[illegible]
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 [illegible]
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話 [illegible]
仁川支局 仁川宮町三丁目
東京支局 東京市京橋區[illegible]

雜報

●米國研究(三)
橫濱正金銀行調査役 井上準之助君

それからもう一ツ、亞米利加に往つて最も感じますのは日本の人が亞米利加を研究する度合が進んで居らんとであります、此處に於る私の滯在中に亞米利加を廻つて歸られた人も澤山ありますが亞米利加に對して善い感じを有つて歸られた人は餘り多くないようであります、歐羅巴を廻つて亞米利加に來られた人は亞米利加の這入り口に來る迄移民官と云ふ者が居つて御前は旅行免狀を有つて居るか、御前の眼には「トラホーム」がないかと云ふ工合で、丸で歐羅巴人と違つて下等人種のやうに取り扱はれることが吾々の非常な悪感情を起す元で、さう云ふ感じを起す者は十ノ七、八まではあるやうに思ふ、うれで亞米利加と云ふ國は餘程申しました通り富の度合と云ふものは非常に發達して居りまして、日本の商賣品なり總てのものを賣るは亞米利加でなければならぬ、支那と同日の論ではないさうして見ると惡い感じを有たないで研究する價値はあるではないか、是は一例でありますが日本の大學から毎年留學生と云ふ者を派遣する、それが日本の法律制度の爲かして決して亞米利加に留學遣りにならぬ、うれで獨逸なり、或は英吉利、佛蘭西の社會制度なり總ての物は十分學者も研究し調べて居ることゝ思ひますが、亞米利加のことは何處にも分つて居らぬ、亞米利加に往かれた御方はあるけれども學者的に研究された人はない、亞米利加の法律は日本に直接に關係がないけれども亞米利加の法律と云ふものは非常な自由な法律で、人間の考へ得る總てのことをやつて弊害が出來て來ると弊害を除いてやることが出來る法律、さう云ふ法律でありますから、又商習慣と云ふものは面白い、出來て居る、さう云ふことは少しも研究されて居らぬ、其以外のことも亞米利加のことを研究される度合が薄いやうに考へる、所が前申したやうに支那に於ては日本と亞米利加は色々樣々の競爭を生じ其の度毎に、日米戰爭杯と云ふことを唱へまして、日米戰爭などは夢でございまして起きる筈はないと思ふ、さう云ふことのあるべき筈はないと思ひますが、現に角支那と云ふ國に於て商賣上に競爭すると云ふことは天然の道理である、從つて茲ひて、亞米利加の問題が日本に出ることが屢々あることゝ思ひますが、亞米利加のことを能く研究されて居らぬと云ふことになれば亞米利加に對する觀念は非常な間違つた觀念を懷くやうになるのと私は思ふので、二ケ年間亞米利加を研究して見ましたが、他日に全世界最大强國となる運命を有し殊に我國には密切の關係ある米國に對する我國人の研究の薄きを感じましたから一言申しあげます。

●新領土の舊山河(六)
呉越

▲鴨綠江(四)

◎高麗史末葉の一頁は文武兩班の鬪爭史なり、李成桂は武班の棟梁にして鄭夢周は即ち文臣の首領、文筆は遂に劍戟の利なるに若かざる事今尚同じ。夢周長竹橋上に其鮮血を濺ぎしは一昨年の今月今日(二十六日)伊藤公哈爾賓に於て狂安安の爲に倒るゝや世人擧げて痛嘆せざる無し、此數奇の種變や或は免かれて身を社稷に全うすべし、夢周全く免かれ能はざる運命に其成らざる志を致す、誠に憐れむべく悲しむ可し。◎與へられたるものは酬いざるべからず、成桂倭寇と女眞と然て鴨綠江と文臣とに依て半島の社稷を得たり、正に失はゞ受くべきは他にあらず、宜哉、北鮮豆滿江畔の野人侵寇度無く、南方倭寇は次々に猿面郎の征韓の擧を以て半島擧げて牢然土と化し、更に内には朋黨相結び相軋り、遂に國運衰變の基を釀す、獨酬いられずして歇々たるは鴨綠江のみ、彼何ぞ是を希ばん哭て興亡を眺むれば願則ち足れり

外事一束

△湖南の長沙陝西の西安共に巡防隊主となり叛亂す革命黨煽動の結果なり
△征討軍兵逃亡多く或は盗賊を用ひざるあり一般に戰意なく慶邸恭王
△海相 蔭勤等銀を金に換へ逃仕度に急に度支部軍費に窮し官吏の俸給を減
△薩提督江を下りし日漢陽水師統制陳有朋兵艦を率ひ謀反せしに由るとか
△北京に移れる武威軍變を釀さんの說有り溝勤主將を優遇し豫防に苦慮す
△南京城内革黨蜂起し省城巳に包圍され老幼避難多く危機に瀕す租界無事
△北京の外人曰く革軍結局成功せん此際政府に貸與し軍器買込戰亂長引可

梁川庄八
小金井蘆洲演

第二十二回

庄八は主個山城屋伊助を呼んで 庄「扨主個……乃公は一夜泊りの心算であつたが、聞けば此近傍は大分見物する所が多いと云話だから、當分は當家へ滯在を致す心得だが」伊「誠に有難い事で御粗末で御坐りますが、何うか御勘辨下さいまして、緩くり御逗留を願ます」庄「乃公は非常に酒が好きだから、酒肴は氣を付てくれ」伊「へイ畏りました」庄「年若な侍が三度〳〵酒を飲んで遊んで滯在をすると、云たら、變に思ふだろうが決して怪しい者ではないから安心をして、勘定お端差間があると思ふといかんから金子は是を預かつて置てくれ」伊「是は恐入まして」庄「就て一泊なら構はんが滯在をするに就ては宿札を出さうと思ふが」伊「有難う存じます弊家の名譽にも相成ます事でございますから、是非願ひます」と悅んだのは金せへこんなに持て居る人品卑しからぬ、餘程身分の貴い方だと思つた 庄「夫では節のない四分板を一枚削らして持て來てくれんか」伊「へヱ旦那樣左樣な大きな者でなく共宜敷うございませう半紙か西の内で間に合せては如何でございませう へイ……」庄「イヤ然うでない肩書もあるしな紙でも絹や何かで破れるといかんから」伊「左樣なれば……御下書を遊ばしまして」庄「イヤ乃公が書こうから硯を太筆を添へて持て來てくれ」伊「へヱ左樣でございますか畏りました」と階下へ來て早速奉公人に云付けて、横町の建具屋で四分板を一枚削らして、硯に筆を添へて再び二階へ參りました、伊「へヱ旦那樣仰せの通り持參仕りました」庄「ア、然うか……其處で墨を摺つてくれ」伊「委細承知仕りました」と墨を摺り初めた、庄八筆を取て總て四分板の眞中へ、梁川庄八正國宿として肩へ小書に奧州仙臺破牢の浪人と認めた、主個伊助は驚いた「怪しい者ちやないと牢破りが怪しくなければ怪しい者はありはしない餘り調子が好過ると思つた」伊「旦那樣御串戲をなすつてはいけませんお戲でございませう仙臺牢破りだなぞと」庄「眞迦を云へ戲れに斯んな事を認める者がある者か本統だ」伊「夫なら猶更らの事で御書きにならなければ知れやあしません、書たばかりで知て露現ちやあつまりませんや、仙臺と此處ですから默つて居れば知れやしません、夫を御自慢そうに例々とれ聽になつては詰りませんや」庄「イヤ一應尤もの樣なれど乃公が國を牢を破つて出る時に町奉行所へ屆けて來たのだ前言を食むのは武士の取らざる所だ、勇士の一言出でゝは駟馬も逐ふ事能はず、乃公は二枚の舌を遣う事が大嫌いだ……乃公は牢破りの宿札を掲るには内に顧みて些しも愧づる所がないから、決して心配するな」伊「併し旦那樣は夫で宜しうございませうが、御代官樣から手前御尋ねの御坐りました時に困ります」庄「此邊は代官支配か」伊「左樣で五十六ヶ村は御代官が御支配で」庄「然うか若し尋ねがあつたら乃公が答辯を致す、決して貴樣の迷惑には掛けぬへゝゝゝ、安心して掛けて置け」と磊落な調子で云放つた、山城屋伊助あ對手が牢破りと云ふのだから迂潤な事を云出して飛んだ事になつてはならぬと、怖は〳〵ながら店の端の方へ出て來た、近處の人や往來の人が驚いた「山城屋へは物騷な人が泊つた」と大評判、其晩から泊の客が一人もない、すると翌日代官の下役が三人飛込んで來た、役「山城屋ア……」伊「へイ〳〵〳〵」役「表に掲げてある宿札は彼れは何んで」伊「何共申譯がございません、弊家共でも困つて居りますので……實は種々申ましたのですが聞入ません、貴樣の所の迷惑は掛けん所役人か參いつたら、乃公が應對をすると云て居るんですから、何うか上り下さいまして御本人に……、表二階の三番の座敷で 役「オー然うか……上るぞ」と表階子をドカ〳〵〳〵と上つて行つた、後ろ見送つた伊助 伊「れはるや阿母さんを伴れ申して新家へ行ていな……男の奉公人は仕方がないが、女中連中裏の畠の方へ出ていな……、今に二階で何か初まるか知れねへから早くしなよ……コレ〳〵れはる猫なんぞ背追つて何うするのだ……何を猫を背追ふどてた姿を……眞迦な似をしてはいけねへよ……阿母さん佛檀から位牌なんぞを出して、火事と間違ひてはいけねへな。



京城新報

高利貸取締法に付き

聞く所によれば、朝鮮總督府は近々高利貸取締法を發布し、高利貸營業者の行爲を制肘し以て之れが跋扈を防ぎ、社會の安寧を維持せんとすと。高利貸業者素より總督府を俟たずして世人より同情せられざる者なり。然れど、同情とか非同情とかは一旦の感觸より生じ必らずしも社會に對する利害より打算したる後の結論にあらざるを以て。其之を好み、否好まずと云ふが如き單純の情緒を基礎として、直ちに之れを政治の上に及ぼし、私人間の關係事に對して干渉の手段を執らんとするが如きは、政治家の最も忌むべきものなり。否人は此見解の下に高利貸業者の取締なるものが、其社會に及ぼす利害の計較を本とせずして感情より來れるものなるが爲めに、其結果や社會に何等の効果を現はさゞるものなるを斷言せんとす。顧ふに、高利貸の跋扈と、高利貸が債務者に對する冷酷無情の行動を見て、之れが絕滅に苦心せし政治家は洋の東西を問はず甚だ尠なからざりしなり。羅馬三傑の一人シーザーの如きは極端に高利貸を憎みし者にして、彼が之を憎惡するに至りしは、當時羅馬の國政に參與せるセナターの一羣が、常に高利貸の爲め苦しめられ懊惱しつゝありしを見て强く胸憶を刺激せられしものならずんばあらず、而してシーザーは我をして羅馬皇帝たらしめば、暴横なる高利貸の絕滅に努むべしとまで傲語し、之を國政上の一條件としてセナターより推されて、終に羅馬皇帝の榮位に上りしも、三傑中の一人クラシスは、これ有名なる高利貸にして、シーザーが揚言し將さに行はんと欲せし高利貸取締に反對したるは歷史の語る如し。若しシーザーをして天壽を全ふせしめ高利貸取締に指を染めしめたりとするも其結果の不成功に終りしや明らかなり。何となれば歐州にては其後政治家中に高利貸退治を以て社會の利益なりと信ぜる者續出し、英國にてはユーヂュアリローウー即ち高利貸取締法の實施をさへ見るに至り、之に因つて高利貸の債權を無効ならしめ以て債務者の苦患を救はんとせしも、元々社會全体の必要より生れしものにあらざれば、日を經るに隨がひ法の運用圓滑ならず世人亦法の存在を認めず。折角のユーヂュアリローウーも全くの死法とは化し終りぬ。而かも沙翁か其劇曲中に寫せし猶太の商人シャイロックの如きものは今尚歐州全土に亘りて高利の金を供給しつゝあるを見ても、高利貸の跋扈を人爲的作用によつて防止せんことの不可能なるを知る可きにあらずや。更に翻つて東洋の政治家が爲せし所に見るに、支那の王安石、我幕末の名老中水野越前守の如き、德政と稱して高利貸の債權を沒收する迄に取締を勵行し、其効果の失敗に擧りしは蔽ふ可からざる事實なり。然るに王安石といひ水野と云ひ共に手を燒きたる高利貸の取締に付て、我總督府は如何なる成法を以て効績を擧げんとするか、これ頗る疑問に屬す。元來、高利貸なるものは、高利をも厭はざる需用者ありて存在せるものにして、需給の原則を外にして此業体のある可き理なし。故に過る年我衆議院にて高利貸征伐的法案を提出するものありしも、滿場哄笑の裡に葬り去られたり。殊に況んや各國植民地に斯る突飛なる法を布きしもの未だ曾てあらざるなり。總督府當局者之を知れるか將た知らざるか。破天荒にも之の法を設けんとす。其死法に化するや疑ひなし。吾人は、總督府に告げん、高利貸の取締を爲さんよりは、寧ろ高利を借る者無きに到る可き政策の實行に意を用ひんことを。

東京電報

▲**廕昌訃說眞乎**　北京にては陰昌負傷し既に死去せりとの說二十七日陰昌に歸京の上諭ありたると共に一般に信ぜらるゝに至れり

▲**官軍降伏公報**　北京發陸軍省着報に依れば二十七日官軍の步兵、輜重兵及び砲兵一中隊は砲四門を率ひて敵に降れり

▲**趙總督自殺說**　四川省成都は革命黨の手に陷落し總督趙爾豐は自殺せりとの說あり

▲**長江通航止め**　二十七日上海有吉總領事發電に曰く招商局滊船長江通ひは二十八日上海發のものを最終とし今後當港に殘留することゝなれり

▲**古嶋氏代議士當選**　故旭山和夫氏の補缺選擧は本日開票の結果浪人會より推されし古島一雄氏當選せり

▲**南京官兵投降**　南京發電陸軍省着四川方面に於ける步兵第三十一聯隊全部第三十二聯隊二個中隊は悉く革命黨となり宜昌は占領せられたり

▲**江岸停車場占領**　海軍省着電に據れば江岸停車場は官軍の占領する處となれり

▲**兩軍の戰闘**　江岸に於ける兩軍の戰闘は官軍一師團革命黨の兵員五千六百餘にして戰闘數時間に涉れり（二十九日海軍省着電）

▲**古島氏の得點**　東京市部衆議院議員補缺選擧は別報の如く開票の結果古島一雄氏總數六千百七十六票內五千百三十六點を以て當選せり

▲**廣東人獨立を決議**　廣東の紳商は三個の自治制に關する決議をなし總督の承認を得て全く獨立せり

▲**官軍の活動**　漢口を占領せる官軍は直ちに漢陽を整理し艦隊は又廿八日砲擊を開始すへく列國艦隊に通告せり

▲**清政府の借款**　帝國政府は白耳義シンジケートより一億五千萬フランの軍費借款をなし尚英米獨佛より千二百萬弗の借款をなすへく交涉中なり

▲**帝國軍艦の派遣**　軍艦滿州、最上の兩艦は淸國に派遣されたり

▲**英國支那艦隊**　英國支那艦隊の組織變更され大に時局に際し活動せんとす

北京特電

▲**廕昌の死確實**　司令官蔭昌は部下の爲めに殺されしとの報說傳はれてより或は傷けられたるも死に到らず北京に逃れたりなど諸說紛々として其眞僞を知るに由なかりしが或筋に達したる確報に據れば蔭昌の死は業に疑ふ餘地無きに至れり但北京政府は官軍の士氣沮喪せん事を恐れ秘密に附し居れり

▲**袁世凱の電奏**　袁世凱は大命に據り愈出征と決し大軍を率ひ彰德府を出發し討伐の途に就ける旨電奏せり

▲**袁世凱の上諭**　袁世凱に對し二十七日更に優渥なる上諭下り欽差大臣を授け征討上一切の權を委ね陸軍大臣陰昌は軍務多忙の爲め袁世凱の着任と同時に歸任す可しとの上諭下たり

▲**再度の上奏案**　資政院議員は二十七日又左の上奏案を提出したり

一、皇族內閣を廢止する事
二、憲法は人民の協贊を經て制定する事
三、國事犯人の赦免を爲す事

▲**鳳山將軍贈位**　革命黨員に暗殺せられたる廣東將軍鳳山に對し特に生前の勳功に據り太子少保を贈りて其靈を弔慰する旨上諭下れり

▲**官軍の漢口占領**　既に革命黨の爲めに占領されたる漢口は再び官軍の占領する處となり官軍稍々勢力を恢復せり

雜錄

●**諸法令の發布**　二十八日附總督府令を以て試補及見習の給與規程改正の件及文廟直員に關する件並に鴨綠江鐵梁步道取締規則同步道に依る輸出入貨物の取締に關する件郵便切手其他郵便料金を表彰すべき證票準據に關する件等發布され即日より之れを施行することゝなりたり

●**軍司令官歸任**　南鮮地方視察中なりし上田軍司令官は廿九日午後七時歸任されたり

●**京城民團の委員會**　京城民團にては三十日午後一時より委員會を開き漢城病院の處分に關し協議する筈也

●**鴨綠江鐵橋步道取締**　鴨綠江の大鐵橋落成に付既報の如く今回總督府令を以て步道による輸出入貨物は當分の內日出より日沒迄の間だけ其他右側步道を徐行する事等に關し規程を發布されたり

●**開通式紀念押印**　新義州郵便局にては開橋式當日即ち十一月一日義州停車場の式場內に臨時出張所を設けて來賓の便宜上郵便物を取扱ふのみならず特に調製したる開通紀念スタンプを捺印し猶翌日より三日間は本局に於て一錢五厘以上の郵便切手を貼用したる物品に捺印の需に應ずる筈なり

●**岩原謙三氏談**

約十分間といふ約束を前提に談話を交ふ問答極めて急なり氏は下顋の髭を忙はし氣に捻りながら語つて曰く「日本內地の資本家の多くは在鮮內地人の有志家が大にして殖產興業の有利有望なるを絕叫する割合には資を漲いで居らぬ尤も近頃にいたつて農業の有望である位のことは判つて來たが恐らくに日本の資本家が奮つて朝鮮に資本を投ずるやうになるのは先づ之れからだらう近來はチョイ〳〵日本から觀光團などがヤッて來て朝鮮の事情を視察して歸るが是等は將來內地人の朝鮮に於ける產業開發上歡迎すべきことである夫れから三井が朝鮮に於て紡績事業を經營する噂あるとかのことは夫れは一部の人が紡績事業を遣つては何うかと唱へた說で未だ決定した譯ではない由來紡績事業は日本に於てすらも生產はあるものゝ職工の關係上大に困難を感じつゝあるが朝鮮では却々六ヶ敷からうと思ふ勿論朝鮮人を使ふにしても初めの幾年かは練習させねばならぬ其の他氣候勵力及び原料の關係に就て果して好成績を收め得るや否やは疑問だ夫れも大規模の下に事業を經營して朝鮮內の需用はたろか外國迄にも輸出しようといふ方針の下に充分總督府が保護獎勵して吳れるならば或は經營するものもあるか知らぬがさもなければマッ遣るものは無いといつてよからう況んや日本內地から一晝夜經ば朝鮮に來るにかゝれやだ次に日本の綿布は每年支那に輸出され殊に本年は大分成績がよく滿洲あたりは八分方日本品が這入つて居るデあるから外國品との競爭が激しく英國あたりはいろ〳〵と防禦策を講じて居る從つて朝鮮への輸入は別物として近來外國品は日本への輸入されなくなつたナニ中淸動亂に依つて三井が受けた貿易上の影響かね夫れは一般であるが何の道動亂が這う何時迄も長引かれては困る、夫れから山林經營否な殖林事業は遣るには遣るだらうが未だ具體的に測量なぞはしない其の方は我殘の興り知らざるところであるから何とも答ふる譯には行ぬ」云々

●**各銀行ご當座利子**　當地各銀行にては從來當座預金の利子は差引殘高十圓以上に對し計算致しをりしが今回殘高百圓以上に利息を附することに申合の上決定せり

●**大邱電氣設計認可**　豫て申請中なりし大邱電氣株式會社工事設計は去る二十三日付を以て認可せられたるが今明日中同會社に對し同指令を交附さるべしと

●**檜垣京畿道長官談**

……管內の巡視に就て……

余が今回の巡視は水原及陽智の恩賜授產場養蠶講習員の卒業式及農事實習員修了式驪州の郡參事聯合諮問會に列席し旁々地方狀況視察する目的で二十七日歸任したが第である管內恩賜授產場の第一回の卒業式は此度ので全部結了したが卒業生の總數は約四百名程で此數丈けは年々管內に養蠶を講習したものが殖へるわけである而して此人々は皆地方に分散して所在に桑園を拓き養蠶を初めるだろうから自然之に見倣つて養蠶に從事するものも出來地方農民の收入も殖へ產業開發の端緒を作る事となると思ふ諸方の授產場で實驗して居る秋蠶二回のハキ立ては結果が頗る良好であるから養蠶產業方針は最も有望であると思ふ農事實習員は各府郡より一名宛出して農事改良の方法を講習させるのだが之も順調に運んで行つて甚だ結構である郡參事諮問會は驪州、利川、楊平、陰竹の四郡聯合であるが此度は此法令制定以來第一回の諮問會であつたのでよく法規の精神、職務上の心得なぞ話したが元來總督施政の根本は　陛下の御趣旨を體し舊來の風俗習慣を無視し民情を驅がす樣の事なく機宜に應じ漸を逐ふて改良を計ると云ふので此郡參事會の鮮人の意見希望を聞き施政上の參考に資すると共に又各種經營に就て從來の事情なぞを聞きとる等行政上の研究ともなり官民融和の手段ともなるわけで頗る恰好の機關であると思ふそれで此度も色々訓示し又色々の事を諮問した一例を擧げると地方衛生の狀況、傳染病、種痘、飲料水の事だとか從來春秋二期農閑を利用して道路修築の賦役を命じて居るが其れに就て何か不平や不便でもないが教育の事でも書堂、書房に通學さして孔孟の敎など甚だ實用的でないものよりも公立普通學校の方は通學の費用も安いし算術其他の實用向の敎育であるのに猶彼の寺小屋に學ばせるのは何故かなぞ凡そ三十餘も諮問したが要するに府郡參事會は目下の朝鮮に頗る適吵した機關であると思ふ。

●**松永師團長の出發**　松永師團長は卅日午前九時龍山出發新義州に赴きたるが鴨綠江架橋落成式に臨場のためなり

●**柴參謀長大演習參觀**　駐劄軍參謀長柴少將は十一月六七日頃當地出發大演習參觀に赴くべしと云ふ

●**岩原氏ご記者團**　目下滯京中の三井物產會社重役岩原謙三氏は二十九日夜京城記者團諸氏を白水樓に招請し晚餐を供したるが席上主人の鄭重なる挨拶に續いて峰岸本社長の記者團を代表せる答辭あり了つて各歡談に時を移し散會したるは十時なりし

●**京通社祝賀會**　既報京城通信社の創立第三週年紀念祝賀會は二十九日午後一時京城ホテルに於いて開催さる園內には餘興演舞場並に模擬店を設け餘興はジョンベール一行の奇術及び後藤一座の喜劇にて何れも來賓に滿足を與へ總て三時半食堂を開き宇都宮主幹開會の辭を述べ次で市原鮮銀總裁大久保辯護士の祝辭あり右終つて古城民長の發聲にて京通社の万歲を三唱し和氣靄々の裡に午後五時散會せるが來賓は官廳側にあつては山縣政務總監小松菊池兩局長其の他高等官の面々會社側にあつては市原鮮銀行總裁吉原東拓副總裁岡崎日韓瓦斯電氣會社專務取締氏民間側にあつては古城民長深水副會頭大久保省川高橋其他の辯護士及び新聞記者通信員等約三百名にて極めて盛會なりき

●**皮革會社の披露宴**　既報の如く今回創立されたる朝鮮皮革會社の重役等は會社に關係を有するもの及び新聞記者通信員を二十八日夜花月樓に招き披露宴を張りたるが最初宇都宮京通主幹來賓側を代表して祝辭を述べ次で中山理事挨拶をなし後酒宴に移り主客歡を盡して散會したるは十時頃なりし

●高利貸取締法の制定に就て（一）

……淺野三井物產支店長談……

高利の取締は各國共古くから行つて居るが容易に勵行されない金利なぞは經濟上の理法に遵つて行くもので之を人爲的に取締つて其効果を現はさうとするのは結局不成功に了るのが多い大阪の樣な處でも鬼權などの高利貸が跋扈して居るのだからなし然も此樣な法規の制定は決して無用ではない只餘り嚴に過ぎて却つて必要の資金を借入れ樣としても此爲に希望を挫ぐる事が出來ずに所謂角を矯めて牛を殺す樣な結果を來す樣ではいかぬと思ふ例へば請負工事の樣に損益の頗る不確實な事業には銀行も貸出さぬから勢ひ個人の貸借に俟たなければならぬ然るに取締法などの爲取引が圓滑に行かぬ時は双方不便を感ずる樣な事となるからから取締の方法なども刑事々件とせず問題として法廷に出す事として警察の干渉を入れぬ樣にするがよい次に高利の程度も考へものだ朝鮮は今では內地との資金の融通も自由だから餞が寡くて高利なのではない擔保物件が便利な有價證券が稀で土地不動產等であるとか又投資企業の前途が內地から見て種々の點に於て不安全であるとかゝ高利たらざるを得ぬ原因であると思ふだから利息を制限しても日歩三錢位の見當が適當ではあるまいか。

●**亀井前總監來京**　目下滿洲各地を視察中なる前警視總監龜井英三郎氏は來る一日の開通式に臨席し同三日當地に向け同地を出發すべしと

●**明石總長の北行**　明石警務總長は三十一日出發鴨綠江の架橋落成式に臨場すべく新義州に出張し十一月二日歸京

●**野田代議士の北行**　滯京中の代議士野田卯太郎氏は卅一日當地出發鐵橋開通式に參列の爲め安東縣に赴くべしと云ふ

●**中野警務課長出張**　中野警務課長は二十九日午前九時十分發列車にて新義州へ出張したり

●**龍居秘書役長の來京**　滿鐵秘書役長龍居賴三氏は卅日午前入京浦尾に投宿したるが卅一日午前出發安奉線開通式に臨場すへしと云ふ

●**臼井哲夫氏群山行**　滯京中なりし前代議士臼井哲夫氏は三十日出發太田より江景に赴き錦江を下り群山方面に銃獵に赴けり

●**內田良平氏の退京**　來京中なりし內田良平氏は卅一日午後一時四十分南大門驛發列車にて歸東の筈なり

●**益田柳外畫伯の入京**　東都青年畫家中新進の聞ゐある同畫伯は觀光を兼て今回來城せられたるが此際一般の需に應じ健筆を揮はるゝ由希望者は永樂町二丁目岡氏方へ申込まるべしとなり

●**京商學校生仁川視察**　京都商業實習學校生徒五十二名及職員七名は廿八日夜下仁川旭屋旅館に一泊し二十九日朝仁川民團吏員の案內にて市中を視察し正午民團樓上に於て茶菓の饗應を受け歸京す

●**鮮銀行券發行高週報**　朝鮮銀行十月二十二日より二十八日に至りしもの左の如し

總發行平均高	二五、六〇二、五三七
內正貨準備平均高	九、二七九、五六一
保證準備平均高	一六、三二三、九七六

▲**京城手形交換高**▼

	金高	枚數
十月三十日	一七七、七五四、六七〇	五七四

▲**治外法權**▼

支那の天下二分說が大分問題になつて居るが、列國政府の之れに對する意見如何、否な意見と云はんよりは利害關係如何▲理論は理論、實際は實際、亞細亞に一新獨立國が殖ゐると云ふことゝ、而してソレが共和國であると云ふことゝは、實際問題としては餘程研究すべきことだ▲盛宣懷は愈ヤリダマに揭がつた、之れで思合はせるのは過日大倉喜八郎が北京へ行つたとき、盛の曰く、自分も此年齡だからイツドンナ事があらうも知れぬから、一ショに寫眞を採つて置かうではないかと、大倉と共に萬壽山で撮影をしたことだ▲本紙の社說子は本日高利貸取締法發布に關して消極の意見を發表した、由來高利貸の取締は社會がすべきもので、國家が法律ですべき者ではなからう▲何となれば折角の良法も之を勵行することが出來ぬとあつては無駄で、亦た其勵行が假令出來たとしても、ソレがために一般社會が益を受けぬ樣ではダメだ▲何人も知る如く、英國や米國には男女の私通を禁ずる法律がある、而かも此法律や彼の禁煙法禁止法と同じく、表面上マコトに立派ではあるが、實際に於ては全くの死法だ▲思ふに其筋が高利貸を取締らんとするの精神や可なり、只其實行や甚だの疑問だ。



●世界一の金光教（下）

（廿七日午後三時半） 白面冠者

『八百万神と云つて神と名の付くものは澤山にあるけれども夫れは皆末の事で此の天地万物を造られたのが、即ち金光教で祀る金神であるのだ、現在日本では天照皇大神宮が一番の神樣として「はあるがである……」

此の男少々馬鹿である

敎祖川手文次郎は其樣な事は敎へて居らぬのみか却つて門徒に他宗門を惡口するものありし時『釋迦も孔子も耶蘇とやらも皆天地親神の氏子なり、然れば親神としては其の子を誹謗る者あるを聞きて喜び玉ふ可くもあらず』と說いて居るではないか然るに此の先生は好んで他を貶すに專らだ不心得な頂上だ、況んや如何に無學なりとて伊勢大廟を云爲するに至ては不埒であるが彼れは何事も知らないのだから餘儀も無らうと思ひ直して『ナカ〳〵何うも有難い神樣ですな』とたちやらけてると先生は愈々圖に乘つて『勿論です、だから如何なる**重病**でも**全治**する』と**醫者殺**しの如な事を云ふ『僕の妹が脚氣で困つて居るのですから速く癒る樣に御祈禱ではないれ願ひをなすつて下さい』と云ふと先生大呑込で『參詣が出來るなら一週間程參詣させたら快くなります』と便利重寶此上なしだ『脚氣と云ふので下痢をかけて居ますので衰弱して居ますから』と云つて容子を伺つて居る『下痢させる必要なし脚氣には糠を食はせるに限る』糠の効用を說くこと頗る詳細なものだ、先生は肝臓の數傚の方よりは醫者の方に精しい『鄕里の父に慾張りですから病氣の全快は覺束ないでしようね』と尋ねると一寸考へ御座つたが『慾あつても一向差支は無い』と云ひ乍ら信者名簿の如きものを取出して住所職業氏名年齡を訊から出鱈目に『西小門外卅二番戸山田吉次郞歲は廿七で父は熊本縣阿蘇の宮地である』と答へると『妹さんの名は』と問ふから『當年二十歲で名はつや子と申します』と何の苦もなくスラスラと言つて退ける『信者に成りますと何程斗り入るのですか』と云へば『**毎月三十錢の會費**を要します』と答ふる猶質問を繼續しようと思つて居るのに先方では面倒になつたと見ねて『一時にれ話は出來ない毎日參詣なさい追々と話を致しませう現に角妹さんは是非參詣する樣になさい**脚氣位直に癒**るよ』と頗る手輕だ、手輕だけに間違ひがあるらしく聞いて居ると、金光敎會であるか何うかは詮索の外に置て、某洋服屋の倅頭が脚氣に罹り醫者に治療を受けつゝあつたが或人が信神すれば一週間も經たない内に全治すると云ふので信神を初めたら御供物だと云つて餅菓子だの神酒だのを飲食せしめたものだから重態に陷つたと云ふ。此の先生も行り兼ねないなど思ひつゝ歸つた折角の金光敎も敎師がドヂだから駄目だ、金光大陣も泣いてるだらう（終）

●五藝妓涙の内情（一）

▽他人の娘を喰ふ人鬼

京城券番玉家席から自前藝妓として九月五日より現はれたる金奴、金子、小金の三妓に金一、金次の兩半玉が時々一室に集りては啜り泣きする事屢々なりと聞きたる記者は仔細ぞあらんと探り見しに果して奇怪極まる事情の伏在せるを發見したり

▲彼等の父母と稱するは愛知縣名古屋市生れ當時京城南山町二丁目に居住する無職堀内實（五二）及同人妻くに（三五）の夫婦にして前記の五妓は表面同人等の養女と成り居るなり、彼れ堀内は舊鄕里名古屋に於て料理業を營み居りしが去る明治三十五年居を閉みて清國天津に渡り金城館と稱する料理屋兼旅館を經營せしに圖に當りて意外の儲けあるより間もなく藝妓抱への爲め内地へ歸還し女を持つ親に百圓若は百五十圓を與へ

▲養女に貰ひ受け宿屋業なれば給仕をさせる而已なりと欺き無垢の少女を伴れ歸りて後は威壓、脅迫、虐待あらゆる手段を以て相手構はず醜業に從事せしめ不義の榮華に耽り居りしが此事何時しか領事館の知る處となり三十九年三月

▲退清命令に依り退清を命ぜられ同十數名は領事館の保護を受け内地へ送り返されたり、茲に於て夫婦の者は餘儀なくも同地を出發し滿洲奉天に入り込み同じ金城館なる屋號にて料理屋を開きしが此頃彼れは何處を何う瞞着したものか前記

▲金奴外五名の者は同行して居たりしなり、而して金子と名乘れるは名古屋市花車町生れにて本名を山田ときと呼び當年十九歲なるが彼れが堀内に抱へられたるは十一歲の時の事にて十四歲に早くも客を強ひられ重傷を受けたる事ありと彼は十六歲の折

▲お虐待 堪ね兼ね逃走を圖りしも果さずして取押へられ約二ヶ月餘りも監禁せられたることありし、最初の契約に依れば金子は十六歲の十一月が年滿ちの筈なるに貪婪飽くなき堀内は前借金に化粧品其他の貸金を加算して歸國するを許さゞりしより金子は已むなく奉天日本領事館へ訴出たり（つゞく）

●猫島遊廓の銃聲

▽獵銃を盜で短銃を買ふ

原籍伊豫國荒井郡最上町當時仁川港碇泊船七坂宮太郎方雇人横田一郎（二三）は去二十七日夕方宮太郎の不在を好機に十二番の獵銃を盜み出し直ちに花町古物商鹿毛彌作方へ十二圓に賣却しピストル一挺四圓にて買受け殘金八圓を懷中し猫島遊樂亭に登樓し遊興中該ピストル一發放ち女共を驚かしたる後又も一進樓に登樓し亂暴をなし同ピストルを振廻すにぞ同樓にては直ちに派出所に訴出でたれば警官出張取押へ本署に引致取調の結果此奴は元呉海兵團の水兵なりしが去四十二年十一月三日外出の儘三回目の逃走をなしたるものなりと云ふ

本社主催
奉祝天長節神田祭式手古舞行列次第

一、日 十一月三日

一、人員 中京兩券に屬する大小藝妓總出

一、行列扮裝 草鞋穿タチッケ着用金棒火の用心携帶

一、行列道筋 行列道筋は日の出町集合地を發し順路長谷川町京城民團祝賀會場に入り更に長谷川町を下り大漢門前に出て太平町を通過して南大門外に出て引返して南大門通三丁目を京城理事廳前に出て本町一丁目より本町筋ハ和町を練り總督官邸前を倭城臺に至る

一、本社新作木遣唄

めでためでたの、てんちうせつよ、くにはさかねて、たみはことむ、きくのさかりに、うれしきゆめの、さめりやかがやく、日のみはた、にすせんけふだい、手をこりあいて、するのするまで、いはいましよ

右は我が京城開闢以來未曾有の快行列にして其壯其美人目を新らたならしむるに足るものと信ぜられ候願はくは滿都の士女諸君刮目して御待ちあらんことを

十月 京城新報社謹白

●夜學校學藝會

京城夜學校の校友大會は豫報の如く去る二十八日夜壽町商業會議所樓上にて開催されたるが午後七時より發會式を開始し君が代の奏樂、會長の開式辭、會員總代の祝辭、則朗讀、來賓立柄總督府編修官の演說等ありて閉會引續き學藝會に移り大成功を見たり尚ほ同夜の來賓は關屋學務局長、古城民長、立柄總督府編修官、深水商議副會頭、田中總督府屬、成田東洋協會講師、民團、商議々員、成田、井上高女師範學校其他生徒父兄保證人等二百五十餘名頗る盛會なりき

●海水吏に鹹からん

忠清道泰安郡東面月里趙仲賢は廿九日仁川濱町製鹽所より再製鹽百八十俵代二百五十九圓二十錢を買ひ帆船に積載し船頭同所徐原七（四三）外三名と共に出帆航行中西南方沖合に碇泊せしが三十日の明方船底の岩石に觸れしを氣附かず砂島の浸水の爲めに沈沒せんとするを發見し救助を求め居たる際當洞二十二統呉龍替、金元植の解通航の際とて一同救助を得上陸し沈沒船は第一宮丸により同七時頃稅關前の棧橋へ引揚げたり

●平山牧場の擊劍會 當地大和町一丁目平山牧場主平山政十氏は劍道熱心家にて自家構内に講武場を有せるが例年の通り十一月三日天長節當日正午十二時より擊劍大會を主催すと出場希望の方は二日正午迄に同牧場宛申込まるべしと尙當日は飛入勝手次第なりと云へば定めし盛會を極むることなるべし

●理髮職人の盜み 南山町二丁目理髮屋宮川政助方東京府南多摩郡八王寺町生れ渡邊喜勝（二一）は宮川方に職工として雇はれ中縮緬兵兒帶外三點（代十一圓餘）を寄取し又十月二十四日明治町一丁目鋤燒屋平山利三郎方にて金二圓餘入り手提金庫を寄取し南部署に檢擧され檢事局へ送らる

●龍山の流行病 龍山麻浦稅關監視署に在住する龍山電話交換局交換手木村トメ（一六）は二十九日猩紅熱、羅り總督府醫院へ入院し又麻浦稅關監視所官舍内大谷建吉男直春（三）はヂプテリヤ病に羅り重症にて二十八日死亡す

●酒を飲で暴れる 清國山東省登州府生れ當時京城南部小公洞王三元（三〇）は二十八日正午十二時頃南部司畜洞四十三統十一戸酒幕金順寬方に飲酒に行き暴行を働き南部署に突出され取調中

●懲役一年 既報高田久五郎の恐喝取財事件は懲役一年に處せらる

●演藝だより

●壽座 後藤一行三十一日の替藝題は一番目『想夫憐』に入切『片思ひ』全五場なりと同日より毎夜藝題を代へ好狂言を上演すべしと頗る贔屓割は如左

伊原濱子、龜末のれつま（松下）中野濟助、大工佐吉（内田）男爵岩崎一彥（藤野）濟助妻れかな（深沖）後室貞子島末主人（雪岡）一蔵夫人雅子（藤田）小泉修三、洋傘屋清吉（後藤）

▲歌舞伎座 卅一日も『千田川留吉』の續き切り『大石内藏之助妻子別』

▲浪花館 十一月一日より娘義太夫竹本小浪一座にて花々敷開演すべし

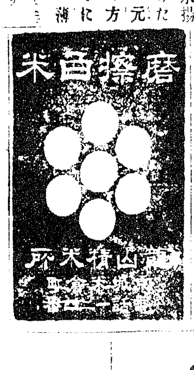
●ライオン齒磨慈善券 神田柳原川岸小林富次郎商店發賣のライオン齒磨は年一年と其販賣額を增加し隨つて如何に其品質の優良なるかは内外人の既に認むる處なるが殊に同店に於ては十數年來ライオン齒磨小袋入の裏面に年々慈善券を印刷し其使用後の空袋は一個金一厘づゝにて何人にも引換居られしが昨四十三年度右小袋入の發賣數は二千百九十八萬餘袋にして此慈善券金額も又二萬一千九百餘圓の巨額に上り前年に比し三千餘圓の增額を示されしが今回引換未了の殘額金一萬五百餘圓は例年の通り全國百廿餘ヶ所の各慈善團体へ向け分配寄贈し以て第十回の決算を終了せりと

▲菊花水揚法 従來夏菊、秋菊、寒菊、大輪花の完全の水揚法なかりしに大阪府三島郡茨木町の小林與旭齋なる人が極めて完全なる水揚法を發見したから通知するで試みて呉れと申し越された▲方法は莖の切口を二ツ又三ツに割りその切口を薄荷油の中に一二分ばかり浸し其儘瓶なり鉢なりに活けるなり▲萎る事甚だしければ切口をたゝきて薄荷油をつけ花を除く外葉莖全部を水中に入れ置き水揚りて後活くるなり▲花店にて求めたるものには水瓶につけ在る故その元にある水分を拭きとりて後前記の方法を施すなり▲日數を長く保たすには瓶に挿して後三四日目毎に薄荷油を付け二分を切捨て新しき切口に更に前記の方法を施すなり

▲本町五丁目裏元待合をなし居りし家



ては此頃は晝夜を別たず入斗りして居る（同町什器債生）▲新町元藏の定九郎姐さん壽町の好さんの事が氣になるので心配してるが居所を知らして上げようか（大和魂）▲女郎の名前に定九郎は驚いた奈くの生噛りがつけた名だらうも少し優しい名は思ひ付かないのか此調子だと『奥一兵衛姐さん』『九太夫姐さん』『馬食ひの牛五郎姐なん』ても出來るのだらう恐ろしや恐ろしや（小僧）▲京日紙の※取紙懸賞に應募して回答を送つたのに三尺十寸の差で落選したが僕より差の多い人が入選して居るの下『住復葉書』で照會したが返事を呉れない不親切だ（落選者）▲襟着ぢやないが多忙の所へ照會するには書留にせねば證據にならん何を一つ云ふにしても直ぐに『證據があるか』と云ふ三百式の流行する京城に在つて特に然り（小僧）▲京城の菓子屋中かすてらの美味いのは大和軒に限る（旭町官吏）▲南山町の下宿屋富明館は女將が氣が利いてるので女中も皆テキパキと親切に取扱つて呉れるので自宅に居る如だ（下宿客）▲田中牛四郎と云ふ人は艶麗家ですねれ宅には美しいのがあり外には江戸奴の如なのがあるれ羨ましいと我輩も一つ何んとか談合致さう（一商人）▲談合や議論で女が出來ると思ふのかい少々れ芽出度い十君は以來志を女に絶つべしだ（小僧）▲京城日報は東京より商況專門の記者を聘し商況欄の体裁はよくなつたが肝心の記事が的にならぬ樣思はれる二十七日の同欄に牛皮暴落又暴落三十七圓云々と阪地より入電有りとかだが我々は未だ左樣通知は受けないが三十七圓と云へば七八圓の下落約二割近くだが左樣大下落は無い樣に思はれる我々の遲鈍か京日の未來を見た千里眼的記事か兎角近頃の京城日報の記事には少々恐れ入る（貿易商小僧）



ライオン齒磨（はみがき）

慈善券（じぜんけん）引換殘餘金第拾回決算報告

一金貳萬壹千九百八拾九圓八拾九錢貳厘　但（自明治四十三年一月至同十二月）滿一ヶ年間ライオン齒磨小袋貳千百九拾八萬九千八百九拾貳袋壹捌に付此慈善券總金額

差引　内金九千貳百參拾八圓八拾錢參厘　但同上年間ライオン齒磨慈善券附空袋九百貳拾參萬八千八百〇參袋引換金額

金壹萬貳千七百五拾壹圓〇八錢九厘

内金貳千貳百貳拾七圓五拾壹錢參厘　但自明治四十四年一月至同年九月十五日ライオン齒磨慈善券付空袋貳百貳拾貳萬七千五百拾參袋引換金額

差引引換未濟　金壹萬〇五百貳拾參圓五拾七錢六厘

右金額左記之通り分配致候也

金額	地名	團體
金五百圓	東京小石川大塚辻町	東京市養育院
金五百圓	同　京橋銀座二丁目	救世軍慈善事業部
金五百圓	岡山市門田屋敷	岡山孤兒院
金百五拾圓	大阪府西成郡神津村	博愛社
金百五拾圓	大阪市東區粉川町	大阪慈惠會
金百五拾圓	大阪府東成郡生野村	大阪汎愛扶植會
金百五拾圓	東京市麻布區笄町	福田會育兒院
金百五拾圓	同　神田區元柳原町	東京出獄人保護所
金百五拾圓	同　小石川區[illegible]龍町	日本力行會
金百五拾圓	同　本所區若宮町	無料宿泊所
金百五拾圓	同　赤坂青山南町	東京育成園
金百五拾圓	同　麹町區飯田町	婦人共立育兒會
金百五拾圓	東京府下巢鴨村	家庭學校
金百五拾圓	同　目黒村	慰廢園
金百五拾圓	同　巢鴨庚申塚	瀧乃川學園
金百五拾圓	横濱市南太田町	横濱孤兒院
金百五拾圓	同　根岸	幼年保護會
金百五拾圓	山梨縣南巨摩郡身延	身延深敬病院
金百五拾圓	名古屋市中區矢場町	愛知育兒院
金百五拾圓	廣島市尾長村	廣島育兒院
金百五拾圓	熊本市新屋敷町	熊本回春病院
金壹百圓	東京下谷區上野櫻木町	同愛社
金壹百圓	同　四谷區鮫橋谷町	二葉幼稚園
金壹百圓	同　府下澁谷村羽澤	東京感化院
金壹百圓	北海道函館區新川町	函館慈惠院
金壹百圓	神奈川縣鎌倉町	鎌倉小兒保育園
金壹百圓	前橋市岩神村	上毛孤兒院
金壹百圓	仙臺市北四番町	仙臺育兒院
金壹百圓	岐阜揖斐郡富秋	清水育兒院
金壹百圓	豊橋市東田	豊橋育兒院
金壹百圓	金澤市常盤町	小野慈善院
金壹百圓	神戸市中山手通	神戸孤兒院
金壹百圓	松江市内中原	山陰慈育家庭學院
金壹百圓	同　北田	松江育兒院
金壹百圓	鳥取市東町	鳥取育兒院
金壹百圓	神戸市役所内	戰役紀念保育會
金壹百圓	熊本市西坪井町	肥後慈惠會
金壹百圓	福岡市下祇園町	龍華孤兒院
金壹百圓	長崎市新大工町	長崎盲唖學校
金壹百圓	朝鮮京城	京城孤兒院
金六拾五圓	横濱市根岸西竹丸	横濱婦人慈善會
金六拾五圓	同　中村町	慈善惠華學院
金六拾五圓	新潟市學校町通三番町	新潟育兒院
金六拾五圓	長野市元善町	大勸進養育院
金六拾五圓	長岡市大工町	長岡福田園
金六拾五圓	同　市坂ノ上町	長岡盲唖學校
金六拾五圓	秋田市諏訪町	感恩講兒童保育院
金六拾五圓	北海道小樽區奥澤村	小樽育成院
金六拾五圓	同　小樽區住ノ江町	小樽慈惠病院
金六拾五圓	同　小樽區奥澤	小樽盲唖學校
金六拾五圓	静岡縣安倍郡安東村	静岡ホーム
金六拾五圓	岐阜市梅ヶ枝町	岐阜訓盲院
金六拾五圓	名古屋市千種町	名古屋養老院
金六拾五圓	三重縣津市丸ノ内	三重育兒院
金六拾五圓	大津市三井寺内	滋賀縣育兒院
金六拾五圓	金澤市上堤町	金澤育兒院
金六拾五圓	京都市上京區二條	平安德義會孤兒院
金六拾五圓	同　聖護院町	京都救濟院
金六拾五圓	同　岡崎町白川岸	平安養育院
金六拾五圓	大阪市北區牛丸	小林授産場
金六拾五圓	同　中ノ島六丁目	大阪婦人ホーム
金六拾五圓	同　南區天王寺松ヶ鼻	興風會
金六拾五圓	同　天王寺細工谷町	大阪約翰學園
金六拾五圓	大阪府東成郡天王寺村	大阪養老院
金六拾五圓	神戸市奥平野村	兵庫縣出獄者保護會
金六拾五圓	神戸市下山手四丁目	神戸養老院
金六拾五圓	同　兵庫大井通	神戸救民院
金六拾五圓	同　加納町二丁目	神戸訓盲院
金六拾五圓	同　荒田町四丁目	神戸報國義會
金六拾五圓	岡山市花畑	岡山博愛會
金六拾五圓	岡山縣笠岡町	甘露育兒院
金六拾五圓	岡山市磨屋町	善隣會孤兒院
金六拾五圓	廣島市大須賀	廣島孤兒院
金六拾五圓	山口縣長府町	防長孤兒院
金六拾五圓	佐賀市水ヶ江町	佐賀孤兒院
金六拾五圓	長崎市浦上山里	婦人同志者育兒所
金六拾五圓	鹿兒島市鹽屋町	鹿兒島養育院
金六拾五圓	松山市府中町	愛媛慈惠會
金六拾五圓	丸龜市中府	海南慈善會
金六拾五圓	高知市本町	高知慈善協會
金六拾五圓	東京市大久保百人町	慈愛館
金四拾五圓	埼玉縣浦和町	埼玉慈善會保護院
金四拾五圓	千葉縣成田町	成田山感化院
金四拾五圓	水戸市上市北三ノ丸	茨城縣保護會
金四拾五圓	前橋市内前代田	前橋積善會
金四拾五圓	高崎市下横町	高崎育兒院
金四拾五圓	福島市清明町	福島育兒院
金四拾五圓	同　市字代町	福島慈善授産場
金四拾五圓	若松市道場小路町	會津孤兒院
金四拾五圓	仙臺市元寺小路	東北慈惠院
金四拾五圓	山形縣西村山郡谷地町	羽陽佛教育兒院
金四拾五圓	同縣鶴岡町	鶴岡育兒院
金四拾五圓	弘前市新寺町	東北育兒院
金四拾五圓	豊橋市	豊橋盲唖學校
金四拾五圓	三重縣桑名新町	九華育兒院
金四拾五圓	滋賀縣膳所町	滋賀縣保護院
金四拾五圓	富山市總曲輪町	富山慈濟院
金四拾五圓	福井市尾上仲町	福井縣育兒院
金四拾五圓	富山縣新川郡奥田村	深敬保育院
金四拾五圓	奈良縣宇陀郡榛原町	大和育兒院
金四拾五圓	島根縣濱田町	石見慈育院
金四拾五圓	山口縣山口町洞春寺境内	山口育兒院
金四拾五圓	大分縣大分町東新町	大分育兒院
金四拾五圓	長崎市東中町	長崎孤兒院
金四拾五圓	鹿兒島市	鹿兒島盲唖學校
金四拾五圓	同　市山ノ口町	鹿兒島孤兒院
金四拾五圓	高松市二番町	讃岐學園
金四拾五圓	松山市鐵砲町	愛媛保護場
金四拾五圓	徳島市福島本町	阿波國慈惠院
金四拾五圓	東京市下谷區入谷町	東京養老院
金參拾圓	同　市芝區三田四國町	東京愛隣社
金參拾圓	水戸市上市仲町	茨城孤兒院
金參拾圓	前橋市神明町	前橋育兒院
金參拾圓	福島市宮ノ下町	福島訓盲學校
金參拾圓	同縣郡山町	郡山訓盲學校
金參拾圓	盛岡市鍛冶町	盛岡孤兒院
金參拾圓	同　市花屋町	岩手育兒院
金參拾圓	新潟縣小千谷町	魚沼孤兒園
金參拾圓	同縣中頸城郡春日村	和敬孤兒園
金參拾圓	同縣古志郡新組村	寶珠育兒園
金參拾圓	北海道札幌南七條西一丁目	札幌育兒院
金參拾圓	静岡縣富士郡吉原町	富士育兒院
金參拾圓	愛知縣岡崎町康生	岡崎盲唖學校
金參拾圓	岐阜市加納町	日本育兒院
金參拾圓	三重縣四日市濱田	三重感化院
金參拾八圓五拾七錢六厘	東京市淺草區森下町	少年修德會愛兒院

合計金壹萬〇五百貳拾參圓五拾七錢六厘

弊店嚮に汎く高告して昨四十三年度ライオン齒磨小袋入添附の慈善券引換未了殘餘金額の處分方法に就て大方諸彦の御高見を仰げり元來ライオン齒磨の慈善券より生ずる金額は其全部を擧て不幸なる鰥寡孤獨を救濟するの一助に資せんとするものなるに拘らず今日尚嚮に稟告したるが如く當然引換を了せらるべき金額の多額に殘れるを見るは弊店の最も遺憾とする所なればなり然るに江湖諸彦の深厚なる御同情を得て其引換未濟金額の處分法に就て示教を辱ふせらるゝもの無慮數百通の多きに達し而も其多くが何れも前例に因て慈善事業に喜捨すべしとの高教に基き更に市内特約販賣店主　灰谷儀助君　田中吉兵衛君　柳下藤五郎君　天野源七君　佐々木玄兵衛君　三輪善兵衛君　諸氏の綿密なる審議協賛を經て前記の通り確定し直に其寄附萬般の手續を終了せり

以上の如く茲に第拾回の決算を明らかにするを得たるは全く愛用者諸彦の深き御同情の賜物として弊店は厚く其光榮を感謝し猶倍舊御愛顧の程伏て奉希上候

明治四十四年拾月

ライオン齒磨本鋪　東京市神田區柳原川岸　小林富次郎

支舖　大阪市東區博勞町二丁目　名古屋市西區傳馬町四丁目　清國分行　天津、漢口、上海

代理店　京城新井藥房　同　森久商店